

今月は「精神障害」

「精神障害」とは

精神障害とは、精神の病気のために日常生活や社会生活がしづらくなることを言います。精神の病気は誰でもかかると言われて、生涯を通じて5人に1人はかかると言われて、その原因は不明ですが、病気になるやすいかどうかという「繊細さ」や「ストレス」などの相互作用によるものと言われています。

精神の病気には、統合失調症、気分障害（うつ病など）、てんかん、アルコールや薬物依存症などがあります。

最近では良い治療薬も出来、適切な治療を継続すれば、症状が安定し回復する病気で、

こんなことに困っていますか。

例えば、うつ状態や、やる気の起きないもどかしさ、また、幻聴・幻覚・妄想などの症状は、はた目には見えにくく、他人から理解してもらいにくいという側面があります。そのため、「怠けている」「何を考えているかわからない」「つき合いつらい」などの印象を持たれる場合もあります。

誤解や偏見が周囲への相談や受診の妨げとなっていたり、地域での生活や就労が困難になったりすることがあります。

こんな配慮をお願いします

○障害の特性を知り、本人のペースに合わせた声かけが必要です。

良かれと思って励ますと、本人の過剰なストレスになることがあります。例えば、「少し休みましょう」「体調はどうですか」。

○再発予防も必要です。

精神の病気では、薬を中断したり、多くのストレスが重なったりすると症状が再発することがあります。不眠が見られたり、急に活動的になったり、ささいなことに過剰に反応するなどの症状が見られたら、無理をせずゆっくり休養するよう働きかけるなどの配慮が大切です。

○自殺を考える人もいます。

自殺は、精神の病気特につづ病と強い関係があると言われています。自殺のサインに気付いたら、受診につなげ、つらい気持ちに共感し、やさしく見守っていきましょう。

精神障害のある人が経験する症状は、一人一人違います。その人にしか分からないつらさがあるということを、周囲の人たちが正しく理解して、一緒に過ごしやすい環境をつくるのが大切です。

【市の相談先】社会福祉課、保健医療課、各支所市民生活室

【広島県の相談機関】

広島県北部保健所保健課保健対策係

0824・63・5181（代表）

安心・安全な毎日のために

庄原警察署 0824・72・0110

「アンダー100作戦」に引き続き取り組みます！

昨年、県内における交通事故による死者は95人、特殊詐欺による被害総額は、約14億円となり、「交通事故死者数90人以下」「特殊詐欺被害10億円以下」とした抑止目標を達成することができました。

庄原警察署では、昨年に引き続き、「安全・安心庄原いちばんの実現」を目指し、「アンダー100作戦」として、「犯罪抑止」と「交通事故抑止」の2つの大きな柱を立て、関係機関・団体と協働し、各種の施策を実施します。

市民の皆さんのご協力をお願いします。

※アンダー100作戦の「100」は、交通事故死者数を90人以下、特殊詐欺被害を10億円以下にする目標数値の合計を示しています。

防ごう交通事故

ことしに入って、一歩間違えば死亡事故になる人傷交通事故が4件も発生しています。その形態についてお知らせします。

●歩行者が横断歩道のない道路を横断中、直進中の自動車と衝突。

●自動車が自転車を追い抜こうとした際、右に進路変更した自転車と衝突

●自動車が交差点を右折中、横断歩道を横断中の歩行者と衝突。

●自動車が右カーブの単路を進行中、左側の側溝に転落。

防ごう特殊詐欺被害

「即断」よりも「相談」

不審な電話があれば、家族、知人、警察に必ず相談をしてください。

●庄原警察署管内の人傷交通事故件数

区分	平成27年	平成26年	前年比増減数
人傷事故件数	72件(2)	80件(2)	-8件(±0)

( )内は死者数。

●庄原警察署管内の刑法犯認知件数

区分	平成27年	平成26年	前年比増減数
刑法犯総数	99件(9)	132件(3)	-33件(+6)

( )内は特殊詐欺発生件数。

既遂6件、未遂3件。被害総額は約700万円です。